

2019（令和1）年度 事業報告

社会福祉法人 山鳩会
ひなたの道 生活介護

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）中期目標（平成29年度～令和元年度）

地域（日中活動、居住の場）で豊かに生きていくために

- ・日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った合理的配慮（環境整備）をしていく。
- ・健康で文化的活動を提供する。
- ・地域活動に積極的に参加し施設理解に繋げる活動をしていく。

（3）基本方針

①利用者の人間としての尊厳を守り自己決定を基本とした支援を行う。

②日常生活動作向上をめざし、利用者一人ひとりに、より細やかな配慮をしていく。

③身体障害等、全介助が必要な方の受け入れに対応するため環境整備する。

④年齢や性別を意識した検診を実施し、早期発見・早期治療の契機として地域生活を少しでも長く楽しめるようにする。

⑤利用者の意欲や障害特性に応じた活動プログラムを提供し、日中活動を充実する。

→全利用者の就労活動参加が図れた。

⑥地域の中で利用者の理解者を増やし、ともに活動できる場を提供していく。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（生活介護）
(2) 利用定員 40名（現利用者数29名）
(3) 開所年月 平成28年10月
(4) 施設規模 敷地面積 982.38㎡
延床面積 996.24㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造地上3階建て
賃貸区分 (土地) 賃借 (建物) 所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	6名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（常勤職員）	1名（本部兼任）
支援員（非常勤職員）	10名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	1名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	19名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（1回／月）	0名
理学療法士（1回／月）	1名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	5	Ⓐ	合 計
愛の手帳	3名	23名	2名	0名	0名	1名	29名
身障手帳	2名	1名	0名	0名	1名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

(2) 年齢構成 (平均年齢歳32.7歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	11名	5名	6名	1名	0名	23名
女	1名	2名	1名	2名	0名	0名	6名
合計	1名	13名	6名	8名	1名	0名	29名

最低年齢 男…20歳 女…19歳 最高年齢 男…55歳 女…48歳

平均年齢 男…32.4歳 女…34.0歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	東大和市	小金井市	小平市	国分寺市	杉並区	港区	荒川区	越谷市	戸田市	合計
17名	1名	1名	2名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	29名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	合計
人数	0名	0名	6名	13名	10名	29名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
月末数	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29	29	29	444
延べ日数	660	660	660	690	660	630	667	638	667	667	609	638	7846
延べ人数	621	616	623	648	588	586	619	587	628	591	560	584	7251
出勤率(日数)	70.6	70.0	70.8	70.4	66.8	69.8	67.3	66.7	68.3	64.2	66.7	66.4	68.1%
出勤率(人数)	94.1	93.3	94.4	93.9	89.1	93.0	92.8	92.0	94.2	88.6	92.0	91.5	92.4%

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:00～9:50	①②便送迎、
9:50～10:30	着替え等 朝礼、日課の確認
10:30～12:00	日課(1.5時間)
12:00～13:30	昼食・歯磨き・昼休み
13:30～15:00	日課(1.5時間)
15:00～15:30	お茶・着替え・終礼
15:30～17:00	①②便送迎

(2) 土曜日

時間	内容
8:00～ 9:50	①②便送迎、
10:00～10:30	着替え等 朝礼、日課の確認
10:30～11:30	日課(1時間)
11:30～12:50	昼食・歯磨き・着替え・終礼
12:50～14:30	①②便送迎

6. 重点目標

(1) 日常生活動作維持・向上のための支援の充実

①日常生活動作（ADL）向上を軸に個々のニーズに沿った支援をしていく。

（作業療法 調理実習 買い物学習 身だしなみなど）

②ストレッチ・ウォーキング等運動プログラムを行う。

→計画通り実施。

(2) 健康・衛生

①一般健康診断の他、歯科検診・婦人科検診等を行い、必要に応じて通院に繋げる。

②健康相談（嘱託医）場面を活用し必要な助言を受け、家庭と連携し健康管理に努める。

③自分の歯でいつまでも食べられるよう、口腔衛生支援を行う。

健康診断	白十字病院	4月3日
婦人科健診	白十字病院	7月18日 8月1日
インフルエンザ予防接種白十字病院	白十字病院	11月11・18日
歯科検診	ひなたの道（折笠 Dr）	2月13日

(3) 創作活動

①紙すき・ちぎり絵・音楽・農作業など、各自に合った教材を工夫し、興味あるメニューの中から選択できる創作活動を提供する。

→計画通り実施。

(4) 生産活動

①B型事業の生産活動（受注、古紙回収）に参加する。

②廻田町地域の古紙回収を行う。

→9月より稼働。年度末に全利用者に均等配分した。

	収益
受注	10,354円
回収	44,087円
ポスティング	16,557円

計	70,998円
工賃支払総額	56,195円

(5) 給食

「おいしく、楽しく」を基本に、個々の状態に応じた手段で提供する。
→個別食の提供など実施。

栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
662Kcal	25.1 g	92.8 g	19.6 g	130.7 mg	0.42 mg	0.36 mg	32.2 mg

(6) 行事

月日	内容	場所	目的	参加数
6/17	ジャガイモ堀	廻田町	地域交流	30名
7/12	バスハイク	ムーミンパーク	外出体験 自己選択	24名
8/27	グループ外出	多摩障害者スポーツセンター	外出体験 自己選択	3名
8/9	暑気払い	ひなたの道	労をねぎらう	28名 家族4名
9/3	グループ外出	多摩障害者スポーツセンター	外出体験 自己選択	4名
10/2/19	親子バスハイク	昭和記念公園	交流	22名 家族6名
11/3	運動会	八坂小学校	身体を動かす	20名
11/22	グループ外出	カラオケビクエコー	外出体験 自己選択	4名
11/25	グループ外出	西武遊園地	外出体験 自己選択	4名
11/29	グループ外出	西武遊園地	外出体験 自己選択	4名
12/7	ひなたフェスティバル	ひなたの道	啓発	29名
1/10	グループ外出	野山北公園	外出体験 自己選択	4名

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①防災計画に基づき月1回の避難訓練を行う。
- ②防火管理者を中心に定期的な自主点検活動を行う。

→計画通り実施。

(2) 事故防止

- ①安全に過ごすための環境作りの工夫に努め、点検・管理を行う。

- ②利用者の施設外への徘徊をシュミレーションし未然に防ぐ。
 →他害行為による破損あり、修繕を実施。車両事故なし。

8. 地域の方との関係

- (1) 地域古紙回収やウォーキングの際の挨拶など、日常的な関係を大切にする。
 (2) 行事を通して地域との交流を図る。
 (3) ボランティアを随時受け入れ、施設や障がい者に対しての理解を得る。
 →地域イベントへの参加、施設祭の実施等で交流が図れた。

9. 実習生の受け入れ

- (1) 地域の特別支援学校などより実習を受け入れて体験の場を提供する。
 (2) 大学などの実習を受け入れ、障がい福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

対象	期間	人数
介護体験	5日	14名
社会福祉士	12～24日	8名
保育士	12日	2名

10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

- ①支援の充実を図るため、連絡帳などで保護者と情報交換を行う。また保護者の思いを丁寧に取り、信頼される関係を築いていく。
 ②年に10回保護者会・2回保護者面談を行う。
 ③毎月「ひなた便り」を視覚的に配慮した紙面で、活動状況を分かりやすく報告し、施設への理解・協力を努める。
 →計画通り実施。

(2) 親の会

- ①共催行事などを通して相互に協力していく。

11. 職員研修

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
生活介護事業の質の評価とこれからの日中活動	6/5	日本知的障害者福祉協会	滝乃川学園	二宮慎一郎
社会福祉士実習指導講習	7/14.15	埼玉県社会福祉士協会	さいたま共済会館	二子石朱音
人権研修 I	9/2	東京都福祉保健局	社会福祉保健医療研修センター	近藤義登
摂食・嚥下機能に合わせた食事形態	9/4	島田療育センター	島田療育センター	福島卓
東京都強度行動障害支援者養成研修	9/9.10	東京都福祉保健財団	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	二宮慎一郎
障害者虐待防止法について	11/14	東村山市障害支援課	東村山市基幹支援センターーと	近藤義登 鈴木脩太
リスクマネージャー養成研修	12/4～6	日本知的障害者福祉協会	TOC有明コンベンションホール	福島卓

気分障害の理解とケア	1/25	日本精神看護協会	日本精神看護協会東京研修会場	鈴木脩太
てんかん発作の薬物治療	1/26	日本てんかん協会	福祉財団ビル	阿部賢雄

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	事業計画実施状況全般等について
評価会議	各1/年	アセスメントの見直し
給食会議	1回/月	委託業者と献立、課題等の確認・検討
ケース会議	2回/月	利用者個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について
B、生合同職員会議	1回/月	多機能としての運営について

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

①担当窓口及び第三者委員を設置し、対応にあたる。

②意思が伝わる関係を作り、丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

(3) 権利擁護・虐待防止・セクシャルハラスメント防止

各種研修を利用しながらより意識的に取り組む。また担当窓口を設置し、丁寧に対応する。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	399-2250
担当者	鈴木 脩太	399-2250
第三者委員	端山 幸子（元社協職員）	399-2250

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	399-2250
担当者（男性）	福島 卓	399-2250
担当者（女性）	二子石 朱根	399-2250

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	399-2250
担当者	二宮 慎一郎	399-2250

14. 人事考課

目標面接	中間面接	10月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月